

OKIU magazine

2017
summer

沖縄国際大学

学報

【第108号】



平和・共生 個性・創造 自立・発展



沖縄国際大学

INDEX

02 特集 ①

図書館活用のススメ
～学生と語る図書館活用法～

10 特集 ②

スペシャルインタビュー
株式会社レキオス代表取締役社長
比屋根 隆

18 ニューストピックス

22 キャリア支援情報

- 1・2年生のための就職活動入門
- 資格取得・就職支援講座でキャリアアップ!

26 奨学金関連情報

- 奨学金を活用しよう!

30 クラブ・サークル紹介

36 予算・決算で見る 沖縄国際大学

38 学内人事

40 大学行事案内 (2017年7月～12月)



空手道部 所属

英米言語文化学科2年次

與那覇 綾子 さん

空手部は毎週月曜と金曜の昼食時間に体育館下の武道場で練習しています。先輩方もとても優しく、男女とても仲がよいので明るく楽しく自分の技術や、精神面の向上を図ることができます。少しでも興味のある方は、ぜひ武道場へ見学しに来てください。

関連ページ▶P21、P30「クラブ・サークル紹介」

図書館へ行こう!!



AV ホール 4F

映像資料などを用いた講義、ゼミの上映会、ガイダンスなど多目的に利用できます。



AV コーナー 3F

DVD、CD、カセットテープ、ビデオ、LD などのソフトが視聴できます (一部機器で Blu-ray も視聴できます)。



沖縄郷土関係資料室 2F

市販の一般向け図書から市町村史まで沖縄郷土関係資料を豊富に取り揃えています。



米軍ヘリ墜落事件関連資料室 2F

2004 年に起きた沖縄大米軍ヘリ墜落事件に関する文献資料や映像資料、展示物などを閲覧できます。



ラーニングcommons(学習室3) 4F

パソコン・プリンターを設置。個人学習の他、グループ学習やディスカッション学習も可能です。



PC コーナー 3F

標準的なソフトを搭載した PC を揃えていますので、レポートや論文の作成などに利用することができます。



グループ学習室 2F

ゼミの仲間や友人達と話し合いながらグループ学習が行えます。



書庫 B1・B2

新聞、学術雑誌、紀要などのバックナンバーやマイクロフィルム資料室、貴重図書室があります。



図書館活用のススメ



～学生と語る図書館活用法～

本学のメインシンボルとも言える図書館。約50万冊の図書を備え、学生のみなさんの学習や研究をサポートします。ラーニングコモンズやグループ学習室、各種データベースやILLなど、充実した環境とサービスを提供しています。学生のみなさん、この素敵な図書館、活用していますか？今回は学生同士の座談会を通して図書館活用法を紹介していきます。



——入学当初に図書館オリエンテーションなどで図書館の利用方法を説明していますが、最初の冲国大図書館の印象はどのようなものでしたか？

全 員：まずは、大きい！（笑）それから本棚が動く（電動書架）ことや入退館ゲートにも驚きました！

——高校までの図書室とは規模がかなり違うから驚きますよね。みなさん、図書館はどのくらいの頻度で利用していますか？

儀 間：レポートや何か調べ物があるときにしか図書館には行かないです。月1回くらいですね。

新 里：僕は必要な情報はたいていパソコン（Web）で集めます。図書館に行くのは課題がでたときに少し行く程度なので、僕も月に1回くらいだと思います。

吉 田 高江洲：私たちは週に2～3回くらい利用しています。授業の合間に来館したりもするので。



左から：新里祐樹（産業情報学科 3 年）、儀間悠大（日本文化学科 3 年）、吉田芽生（日本文化学科 4 年）、高江洲佑美枝（日本文化学科 4 年）、玉那覇淳（図書館職員）



——儀間さんや新里さんも空き時間はあると思いますが、そのような時に図書館に行くことはありませんか？

新 里：空き時間は図書館よりもコンピュータ教室に行く機会が多いです。学科の課題があるので、パソコンは常に触っていたと考えています。



新里 祐樹 [しんざと ゆうき]

産業情報学部産業情報学科 3 年
軟式野球部所属



吉田 芽生 [よしだ めい]

総合文化学部日本文化学科 4 年次
図書館アルバイト職員

吉 田：レポート作成や課題がでたときは、図書や雑誌からではなく全部パソコン(Web)で情報を集めるんですか？

新 里：それがいいですね。Web でいろいろ検索して、いい情報が見つかったら大事な部分を書き出していただきます。

吉 田：私の場合だと「図書館に行きなさい」と言われちゃいますね。図書館司書課程を履修しているので。

——Webを検索するときは、何かデータベースを使ったりしますか？

新 里：特定のデータベースなどを使うというよりは Web 全体を検索して探していく感じです。

吉 田：Web 上には個人が裏付けもなく載せているような記事もありますよね。やっぱり研究者が書いた論文を根拠資料とするほうが信憑性があるので、私は CiNii(サイニー)を使って探したりします。

——確かに、学術論文は根拠資料としての信頼度は高いといえますね。Webからの情報の場合、そのページで書かれていることの信憑性のようなものは気にしますか？情報の出どころが個人なのか、企業なのか、大学なのか、など。

新 里：個人のブログとかは省いたりします。あと、複数調べてどこでも同じことが言われているか確認しています。僕の場合、今は課題でアプリ制作に取り組んでいるので、ひたすらパソコンと向き合って試行錯誤するという感じで、レポートや論文作成をしている学生さんとは少し違うかもしれないですね。

——そうですね。学科や年次によっても図書館の使い方は変わってくると思いますので、利用者に応じたガイダンスを実施しています。2 年生対象の「ゼミ発表の仕方」、3・4 年生対象の「論文や就活情報の探し方」などの説明をしています。このような図書館の取り組みは知っていましたか？

儀 間：1 年生のときの図書館オリエンテーションは受けていますが、そのようなガイダンスは知らなかったです。どんな内容が気になります。

高江洲：私も図書館司書課程を履修していることもあり、ガイダンスについては知っていました。でも自分で気にしていないとなかなかわからないかもしれませんね。



儀間 悠大 [ぎま ゆうだい]

総合文化学部日本文化学科 3 年次
軟式野球部所属



高江洲 佑美枝 [たかえす ゆみえ]

総合文化学部日本文化学科 4 年次
図書館アルバイト職員



CiNii Articles (サイニー アーティクルズ)

国立情報学研究所 (NII) が運営するデータベースサービスで、学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引などの学術論文情報を検索することができます。



論文を探すならまずこれ！！

CiNii でお目当ての論文が見つかったら、その論文が収録されている「雑誌」を特定しよう！論文情報ページ内に収録雑誌名の記載があります。雑誌を特定できれば、あとはおなじみ「OPAC (図書館蔵書目録オンライン検索)」で本学図書館に所蔵があるか確認。

※論文が単体で本棚に置かれていることはありません。収録されている雑誌名がわからないとたどりつけません。



本学図書館ホームページにリンクをはっています。



図書館ステップアップガイド

論文検索に必要な「OPAC」、「CiNii」、「ILL」、「データベース」の利用方法と「就活に役立つ図書館活用法」について指導します。

図書館をより効率的に活用してもらう為、前期 (6 月頃) と後期 (10 月頃) に論文作成やゼミ発表、就職活動に役立つ下記の内容でステップアップガイドスを行っております。

実習形式で次のことについて説明します。

- ① OPAC (図書館蔵書目録オンライン検索) の簡易検索や詳細検索の使い方
- ② 論文の探し方 (論文検索システム「CiNii (サイニー)」を中心に)
- ③ ILL (図書館間相互利用サービス) の利用方法
- ④ 辞書、年鑑、目録などの参考図書の利用方法
- ⑤ データベースなどの種類や使い方
- ⑥ 就職活動に役立つ図書館活用法 (就職関連の資料の探し方など)

開講予定については詳細が決まり次第、図書館の掲示板やポータルでお知らせします。



吉 田：図書館には他にも便利なサービスがありますよ。このあいだ初めて ILL (Inter-Library Loan 図書館間相互貸借) を利用しました。自分が探している論文の収録雑誌が本学図書館にはなかったので、必要なページの複写を依頼しました。

高江洲：私はゼミの課題で ILL を利用しなさいというものがあったので、そのときに利用したことがあります。便利だからもっと広めたいですね。

——そう。便利なサービスですね。カウンターでレファレンスサービスも利用したことがありますか？

儀 間：カウンターで質問などはしたことがないです。

吉 田：自分でやらなきゃいけないかなと思ってしまうので、あまり利用したことはありません。「〇類の図書はどこにありますか」などは尋ねたことあるんですけど、本格的なレファレンスはしたことないです。

——カウンター職員は図書館司書の資格をもっている人がほとんどです。専門的な立場から、色々なサービスについて説明しますので、何かわからないことがあれば遠慮せず声をかけて下さいね。



ILL (Inter-Library Loan 図書館間相互貸借)

利用したい本や雑誌などの資料が本学図書館にないときは、他大学図書館との相互協力により、以下の方法を利用することができます。1 階カウンターに申し出てください。

(1) 相互貸借

他大学図書館所蔵の図書資料を借り受けることができます。MyLibrary の「ILL (文献複写・貸借) 依頼」から申し込んでください。

※資料が届くまで 1～2 週間かかります。往復送料等は申込者負担となります。

(2) 文献複写

他大学図書館所蔵の図書や雑誌の一部 (著作権の範囲内) をコピーで取り寄せることができます。MyLibrary の「ILL (文献複写・貸借) 依頼」から申し込んでください。

※資料が届くまで 1～2 週間かかります。複写料金、送料等は申込者負担となります。

(3) 直接利用

他大学所蔵の図書や雑誌をその図書館で直接利用することができます。

※詳しくはカウンターにて



レファレンスサービス

図書館は施設の利用や資料閲覧だけでなく、特定のテーマの調査や幅広い文献を探す援助 (レファレンス・サービス) を行っています。1 階カウンターに申し出てください。

※課題やレポート・論文などについて、学生の方々に代わって調査・回答することはしません。文献を調べ、資料を探し、利用することが課題の一部となっているからです。

■レファレンスサービス

ある事項やデータについて知りたい
参考図書の使い方がわからない
文献の探し方がわからない
必要な資料が図書館で見つからない
検索機器の使い方がわからない

■レファレンスで答えられないこと

講義の課題・試験問題・懸賞問題の解答などについての調査
法律、医療、健康、身の上相談
仮定に基づく質問、将来予測など推理、推論、価値判断を求める質問
合理的な検索手段のない記事や写真等の調査

——みなさん、図書館でのオススメの過ごし方はありますか？

吉 田：私は一人暮らしなのですが、新聞をとっていないので、図書館でよく読んだりします。立って読める高さで開かれた状態で置かれているので、パッと読みおえられるのがすごくいいですね。

——先日、学生が新聞のバックナンバーを調べていて、何か困っている様子だったので声をかけてみました。講義である新聞記事を探すように言われたらしいのだけど、見つからず行き詰っていたようです。少ない情報で紙媒体から探すのは難しいので新聞のデータベースを紹介しました。キーワードで検索して、すぐに記事を見つけることができたようです。

儀 間：そんなサービスもあるんですね。どんな種類があるのか知りたいです。



新聞記事の検索データベース

■ 琉球新報データベース

琉球新報の記事を検索、閲覧できるデータベースサービスです。1998年1月から琉球新報に掲載された沖縄関係のニュース、地域の話、各種記録などを収録。

(犯罪、事故、裁判関連の記事は一部非公開となります。)

■ 沖縄タイムス記事データベース

このデータベースは、沖縄タイムスに掲載された政治・経済・社会など1997年以降の全ての記事を収録。(事件・事故関連の一部など非公開の記事は見出しのみ収録)。号外などもデータとして収録されています。

■ 毎日新聞データベース[毎索]

毎日新聞の保有する豊富なデータベースを統合した検索サービス。1872年創刊から1999年までの過去紙面を1号の欠号もなく提供するほか、世論調査データベースを収録するなど、コンテンツ内容が充実しています。



本学図書館では新聞以外にも各種データベース、電子ジャーナルが利用できます。図書館ホームページのトップページから確認することができます。



——ところで、みなさん。先生の論文を読んだことはありますか？

儀 間：まだ読んだことはないです。
新 里

高江洲：ほとんどないです。雑誌や新聞の記事などは目にすることありますが、コラムとか。

——**沖国大の先生方の論文をデジタル形式で収録している「リポジトリ」や紀要（大学が発行する論文集）などで読むことができますよ。**

玉那覇 淳 [たまなは じゅん]

沖縄国際大学図書館職員
当座談会進行役





沖縄国際大学学術成果リポジトリ

沖縄国際大学の教育・研究活動から生み出された学術的な成果を、デジタル形式で公開・保存しています。



← 本学図書館の蔵書検索
「OPAC」から検索できます。

論文を身近に！！

難しい論文もゼミの先生が書いたものなら身近に感じるのでは！？リポジトリに収録された論文は画面上で閲覧が可能です。

紙媒体
論文はこちら

※本学の紀要は B1/ 書庫 4
他大学紀要は B2/ 書庫 2
※各種学術雑誌は 3F の学術雑誌コーナー

——儀間さん、新里さん、今日いろいろ話をした中で出てきたCiNiiや新聞データベース、ILLサービスを実際に使ってみませんか？

吉田さん、高江洲さんは以前にも利用されたことがあるので説明をお願いしますね。

吉 田、高江洲： はい、わかりました。私たちが勉強になりますので、できるだけ細かい説明や利用についてのアドバイスができればと思います。

儀 間、新 里： ぜひ宜しくお願いします。



3Fのパソコンコーナーに移動して簡単な実習を行いました。OPACの詳しい使い方や、CiNiiや各種データベース、ILLの申し込み方法などを学び、実際に使ってみました。

詳細は図書館ステップアップガイドスにて！

今回二人が体験したような実習は図書館ガイドスでより細かく行っています。興味のある方はぜひご参加ください。
※お問い合わせは図書館まで。



CiNiiでゼミ教員の論文を検索し、収録雑誌を特定した二人は、本学紀要の配架場所です実際に論文を手にとることができました。



——実習、お疲れ様でした。今回初めて利用したサービスもあったと思いますが、実際に使ってみてどうでしたか？

儀 間：すごく良いサービスがたくさんありました。例えば新聞のデータベースなどは本来紙資料である新聞をキーワードで検索できるので便利だと思いました。このようなサービスを知っているのと知らないのとでは全然違うと思いました。

新 里：これからレポート作成や調べ物の方法が変わりそうです！

——それはよかったです。これを機にガイダンスにも参加したり、いっそう図書館を活用して欲しいと思います。まずは図書館にたくさん足を運んで下さい。図書館の本は手に取ることが大事だと思います。なにげなく通った書架で気になった図書を読んでみることで、今までにない考えや発見などもでてくると思いますよ。

吉 田：私は図書館でのアルバイト業務で、配架(図書を書架に戻す作業)をしているときなど「あ、こんなところにこんなおもしろそうな本があるんだ～」って思うことがあります。

高江洲：わかる～！今まで全然気にしてなかった分類のところで良い本に出会ったりしますね。

——私が本学の学生だったころは新しくなる前の図書館でした。蔵書も今の図書館と比べたら少なかったですし、こんなにたくさんのサービスはありませんでした。だから皆さんの環境はすごく羨ましいなと思います。せっかく素晴らしい図書館があるので、たくさん利用して下さい。

儀 間：これからもっと図書館を利用しようと思います。ありがとうございました。

新 里：参考になりました。ありがとうございました。



みなさん、お疲れ様でした！！



今回の座談会は参加者それぞれに得るものがあり、有意義であったようです。本学図書館にはここで紹介したような学習や研究のサポートに関するサービスはもちろん、憩いの場としての側面もあります。

AVホール(4F)を利用してゼミの上映会を行ったり、AVコーナー(3F)で映画や音楽を鑑賞することもできます。

また学術雑誌以外にも、スポーツや音楽など様々な一般雑誌(1Fブラウジングコーナー)も取り揃えています。まずは授業の空き時間にでも図書館へ行ってみませんか？きっとみなさんの大学生活にプラスになることでしょう。学生のみなさん、沖縄国際大学図書館をぜひ活用して下さい！



スペシャルインタビュー

創立45周年を迎える沖縄国際大学では、各分野で活躍する卒業生を輩出してきました。起業して地元貢献したいと尽力する卒業生も少なくありません。今回は株式会社レキサスの比屋根 隆 社長（旧・短期大学部英文科卒業生）に、学生時代のお話や、現在取り組んでいる事業などについてお話をお伺いしました。



レゴ® スクール沖縄 那覇にて

比屋根 隆 (ひやね たかし)

株式会社レキサス 代表取締役社長

【プロフィール】

短期大学部英文科（現・英米言語文化学科）1994年度卒業
 商経学部商学科（現・産業情報学部）1997年度卒業
 在学中に従兄弟とIT企業を起業する。その後、独立して1998年にレキサスを設立。さまざまなインターネットサービスをリリースし、国内外で活躍する企業として成長する。2008年、沖縄の学生をシリコンバレーに派遣するIT frogs（現・Ryukyufrogs）を始動。2017年には幼少期からクリエイティブな学びに触れる機会を提供する「レゴ®スクール沖縄 那覇」を開校するなど人材育成事業にも尽力している。また、本学においても寄付講座を提供し、将来を担う若手リーダーの育成に取り組んでいる。

沖縄の財産は
 “人”しかないと
 思っています



学生向けのポータルサイトを企画

短期大学部に体育推薦で入学したのですが、途中でサッカー部も辞めてしまって、学校に行く意味が無くなってしまいました。短期大学部も留年して卒業し、卒業後も就職せずに居酒屋でアルバイトをしていました。その後、いくつか選択肢があった中で改めて「自分はそもそも何をしたかったのか」を考える時間を作ろうと商学科に編入しました。そして、どの分野に進んでもマーケティングは必要になると考え、マーケティングを専攻しました。

編入したときに知り合いから「これからインターネットの時代だよ」と言われました。当時学内でインターネットが繋がっているパソコンというと、5号館に5〜6台くらいあるだけでした。そういう時代でしたので、現在のようにいつでも使えるインターネット端末が一般家庭にあるわけではありません。インターネットに繋がっているパソコンをさわるために土曜日の朝早くから学校に行っていました。

就職活動もしなければいけなかったのですが、就職活動せずにヘッドハンティングされたいと思いました。そこで、何か目立つことをしなければいけないと考えました。当時、インターネットが面白くて、大学周辺の居酒屋などのホームページを制作してお金をもらっていました。そこで県内の大学生に特化したポータルサイトを作っていこうというアイデアが生まれたので、その企画書を作りました。ただ、私はプログラミングができなかったので、宜野湾にあるIT企業にこの企画書を持ち込みました。従兄弟がその会社の役員だったので相談したら「面白いね」となり、その会社に入社しらせてもらうようになりました。そこを拠点として、企画を進めるための開発チームや制作チームを作りました。『Students Communications』というグループ名にしましたが、私ひとりがいるだけで、プログラミングができるわけでもありません。そこで沖縄国際大学でプログラミングを教えている安里肇先生にお願いして、安里ゼミでこの企画をプレゼンテーションしました。一緒に運営してくれるメンバーを募集するためです。安里先生の紹介で、他大学の情報系の教員も紹介してもらい、沖縄国際大学、名桜大学、琉球大学、沖縄キリスト教学院大学(当時の沖縄キリスト教短期大学)でメンバーを集めました。



Students Communications では、それぞれの大学のホームページを作ったり、それをまとめたポータルサイトを作ったり、県内の大学生が必要な情報を掲載したりしていました。当時の大学生はコンビニでアルバイト情報誌や中古車情報誌を見ていましたが、それらの情報があまりにも古いので、最新の情報をネットで見られるようにしました。また、「今日だけアルバイトしたい」とか、「時給は 800 円以上で」とか、条件検索もできるようにしました。車が欲しい人は「トヨタで」「何年式で」とか、予算額を入力して県内の中古車情報が出るようにしました。そういった中で、民間企業とのコラボレーションが増えてきました。大きくはありませんが県内企業と一緒にプロジェクトをやるようになり、お金がもらえるようになってきました。そのうち「うちで働かないか」という話もありました。1997 年～1998 年頃で、ちょうどインターネットがブームになってきた時期です。



在学中に IT 企業を起業

Students Communications の活動を継続するために、在学中に会社を興しました。社長は従兄弟で、私は取締役です。従兄弟が別会社を作るという形で出資して、そこで私が Students Communications (STC) の事業部を責任を持ってやることになりました。学生が学生のためのサービスを開発して、企業とコラボレーションするセクションを作る、というモデルで起業したのが大学 4 年生の頃です。その会社を作ったとき、私たちは学生でチャンネル 20 (チャンネル・トゥエンティ) というポータルサイトを作っていました。そのポータルサイトの仕組みを買いたいと言ってくれたのが沖縄県産業振興公社です。沖縄県産業振興公社のホームページでその仕組みを使って、情報発信とコミュニティ活動を行いたいということでした。売却の手続きで、初めて見積もりとか提案書といったものを作りましたが、それで分かったのが、学生の任意団体とは契約できないということでした。それで従兄弟が法人を作るときに私も共同出資して、その会社と産業振興公社で契約してもらう。そういう形で最初の会社を興しました。

その会社に勤めていたときに、県内外のソフトウェア関連企業に出入りしていましたが、本土と同じ品質のものを作っているのに「沖縄に頼めば開発にかかる人件費を安く抑えられる」と言われ、悔しい思いをしました。人件費の安さを強みに仕事を取っているうちは、

それ以上の給料はもらえません。安いという事で選ばれているということは、他にもっと安いところが出てきたときにはそこに持って行かれるし、もっと価格競争しないといけなくなります。安さを強みにすると、どんどん価格競争にさらされていきます。それは沖縄にとっても、働いているエンジニアにとっても全然ハッピーな状況ではないです。



一方で、私たちはインターネットという世界からこの業界に入ってきました。ちょうどYahoo! や楽天が1997年や1998年に出てきて、業界が成長していた時期です。インターネットのサービスを提供する会社であれば、人件費ではなくサービスそのものの品質を強みに、場所にとらわれることなくビジネスができます。また、自分たちで開発して、自分たちで直接世の中に提供できますし、それをエンジニアひとりでも実現することもできるのが、インターネットビジネスの面白さです。インターネットをベースにした自社プロダクトをどんどん作り続ける会社。なおかつ、そのサービスがグローバルに活用されている会社。そんな会社を沖縄に作りたと思いました。そこで「沖縄には優秀な人材、優秀な企業がたくさんあるから彼らと提携しよう！」そう言われるような事例を作ろうと思って、最初に立ち上げた会社を辞めて作ったのが『株式会社レキサス』です。



沖縄の人材育成に尽力

株式会社レキサスを立ち上げた当初は、『チームギア』というコラボレーションサービスを提供していました。その後、東京に事務所を構えて、初めての東京進出も果たしました。しかし、上手くいかず悔しい思いをした時期もありました。そのときに一度、東京の事務所を閉鎖して、何のために会社をやっていたのかを考えました。シリコンバレーに行ったり、アジアに行ったり、海外を見て回る機会を増やしました。そのときに、もっと高いビジョンを掲げて、生きているうちに世の中のためになるようなことをしたいと思いました。単純に「沖縄の情報通信産業を変えよう」ではなくて、自分の生まれた島をより幸せに発展させる

ためには、経済の自立というテーマがあるので、その実現の一翼を担う会社でありたいと思っています。沖縄の外に出ると自然にそう思うようになりました。きっと自分にそういう使命があるのではないかと思うようになり、それで会社でレキサスビジョンをしっかり明文化して、それに沿った人を採用するということをはじめると、組織・会社が楽しくなっていくます。「何のために会社をやっているのか」を明確にしたということです。

学生時代に起業して、事業計画にはグローバル企業になるということが謳われていたのですが、私自身がシリコンバレーに行ったことがありませんでした。2006 年とか 2007 年頃に初めてシリコンバレーに行って「来るのが遅すぎた」と後悔しました。沖縄を強くするためにはシリコンバレーで通じる企業やエンジニアがたくさん出てこなければ駄目だと思って立ち上げたのが IT frogs (現・Ryukyufrogs) です。沖縄県の自立を実現するためには何が必要か、それは長期的には人材育成の基盤です。グローバルに活躍できる人材を生み出す仕組みを作るために、学生を選抜して毎年シリコンバレー研修に送り出しています。それはレキサスのためにというよりは、沖縄の自立のためにこういう仕組みが無いといけないという想いからスタートしています。



沖縄の財産は“人”しかないと考えています。未来は子どもたちの教育でしか実現しないですね。それは大学生になってからでは遅いと思ったので、Ryukyufrogs の年齢を下げていきました。幼少期からそういう環境があって才能が伸びてくれば、トップのレベルも上がってきますが、そうするとトップの教育の方法も変わってきますよね。サッカーをやっていたので、Jリーグのモデルって大事だと思っています。ボトム部分は地域に根ざしたクラブ活動で、上は J1 や J2 のようなイメージですね。下は地域に根ざしたプログラミング教室とかデザイン教室とかでも良いし、私たちが沖縄で始めた『レゴ® スクール』のような場所であっても良いと思います。そこで才能が出てきた子をしっかりと上のレベルにどん

Ryukyufrogs (リュウキュウフロッグス)

「沖縄の持続的かつ発展的な経済自立の実現のために、世界と沖縄をつなぐローカル志向の若手イノベーター人材を発掘・育成する」という志のもと 2007 年にスタートしたプログラム。沖縄在住の学生なら誰でも無料で参加できる。10 日間の米国シリコンバレー研修では、ベンチャー企業を訪問し、現地で活躍する起業家、投資家、エンジニアの方々との交流やパネルセッション、サービスプレゼンを行う。また、帰国後には研修で学んだことを活かし、半年間、サービス開発を行い、12 月の「Leap Day」では観衆の前で英語でのサービスプレゼンを実施する。

レゴ® スクール沖縄 那覇

ブロック玩具会社「レゴ®」から公認を受けた県内初の教室。2017 年 4 月にイオン那覇店内に開校された「レゴ® スクール沖縄 那覇」では、3～10 歳までの子どもを対象に、レゴ®を使った教育カリキュラムを提供している。子どもたちはレゴ®で遊びながら創造力や論理的思考力、物理、科学、テクノロジーの基礎、チームワーク、プレゼンテーション力などを育むことができ、高学年になるとプログラミングツールを使ったロボット教材を動かすこともできる。開校から体験クラスの申し込みが相次ぎ、話題となっている。



どん吸い上げていく仕組みを作る必要があります。スポーツの世界って割とできているじゃないですか？ 事業にもそういうのがあると思っています。課題を見つけるとか、それを解決するとか、創造力とか、チームワークとか、リスクをとるとか、そういうことも結局のところ、トレーニングだと思います。そういう環境を沖縄に作れば、自ずと「沖縄には優秀な人材が多いね」と言われるようになります。それは県外や海外から見たら沖縄の大きな財産、強みになります。そういう人が事業を作っていくはずなので、どんどん下の年齢まで含めて人材育成の画を描いているという感じです。



レキサスは「株式会社沖縄県」



レキサスは「株式会社沖縄県」だと思っているのですが、そこから長期的な視点で事業を作っていくためには必要なものが3つあります。ひとつは「テクノロジー」です。これからテクノロジーを使いこなせることが大事ですが、自分たちに足りない技術は海外からでも持ってくるだけのネットワークを持っていることも重要です。もうひとつは「人材」です。優秀な人材をいかに沖縄に集めるか、あるいは沖縄で生み出すことができるかということです。最後のひとつは沖縄そのものです。沖縄が持っている「資産」を活用したサービスなどです。観光がその分野ですよ。この3つの領域を取り組んでいこうと考えていきます。私たちは「テクノロジー」からスタートして、今は「人材」の事業をしっかりとやろうとしています。レゴ® スクールも「人材」事業のひとつですね。「テクノロジー」と「人材」を掛け合わせて、グローバルに通じるサービスやプロダクトをこれから生み出していこうと思っています。例えば、私たちは「テクノロジー」は持っているので、沖縄のもうひとつの大きな産業である「観光」と「IT」を掛け合わせて、観光の付加価値を上げられるということだと思います。つまり、県内に関しては沖縄の各分野とITを掛け合わせたクリエイティブなことを仕掛けて、沖縄の産業そのものの付加価値を上げていきたいと考えています。特に観光産業に関しては大きなマーケットなので、それをさらに伸ばしていけるようにしたいと思っています。また、県外・海外に対してはグローバルに通じるレキサスのサービスをこれからも生み出していこうと思っています。そのためには「テクノロジー」と「人材」が必要です。



在学生やこれから大学受験を志す 皆さんへのメッセージ

大学生になったら社会と繋がりのある活動に参加してほしいと思います。世界を変えようとか、地域を良くしようと思っている団体、大人がそこにはいます。そういった中で大学の4年間を有効に活用してほしいですし、そこでは気づきや学びも多いはずで。気づきや学びがあると学校で学習する意味も深みが増してくるはずなので、学外に出て世の中を変えたいと考えているような人や団体、チームにどんどん参加してほしいなと思っています。

学生時代のことを振り返ると、マーケティングのことをもっとしっかり勉強しておけば良かったと思います。また、学生時代は学んだことを社会と連携させてリアルに体験していたわけではなかったのも、それはもったいないことをしたと感じます。ただ、やっぱり学外活動も一生懸命やっていたあの時間は大事だったと思いますね。

寄付講座「ハイブリッド型人材育成講座」

沖縄国際大学で開講されている寄付講座「ハイブリッド型人材育成講座」は、株式会社レキサス提供による文理融合型の人材を育成する講義。現在、テクノロジーの発展に伴いさまざまな産業分野が変化やイノベーションを求められている。また、2020年には小学生にプログラミング学習が義務付けられるなど、未来を生きる人材にとってテクノロジーはもはや欠かせないアイテムとなっている。このような状況を背景に、本講座では、最初から難しい技術を学ぶのではなく、ワークショップや講座を通してテクノロジーの必要性や可能性に気づき、技術だけでなくデザインやプレゼンテーションなどにも興味を持ってもらいながら、文理の枠を超えた人材に成長してもらうことを狙いとしている。





12月25日

第9回沖縄県男子総合駅伝競走大会で 本学陸上部が8連覇を達成

名護市陸上競技場を発着点に6区間（45.4キロ）に29チームが参加し、沖縄国際大学Aが2時間24分31秒（8年連続8度目）で8連覇を達成、沖縄国際大学Bチームは2時間38分30秒で10位でした。



1月11日

くまモンが沖国大にやってきた！ —くまももから感謝をプロジェクト！—

本学は熊本地震を受け、熊本県と協定校である熊本学園大学への支援を教職員でも行い、また学生有志による募金活動・救済物資の送付・エイサー演舞による寄付金集めなどの活動を行ってきました。今回の訪問はそのお礼を伝えるという目的で行われ、くまモンから本学前津学長へ感謝の色紙が贈呈されました。



1月12日

埼玉西武ライオンズ・ 菊池雄星選手が本学を訪問

菊池雄星選手は、1月に本学グラウンドを使用し、自主トレーニングを行いました。本学学長を表敬訪問し、施設提供による地域貢献についての話などがなされました。本学は今後も人材育成・地域貢献の一環として、地域社会のスポーツ振興に貢献出来るよう活動していきます。



1月21日

IT津梁まつり2017プレゼン大会にて 本学ゼミが最優秀賞を受賞しました

IT津梁まつりは幅広い世代の学生を対象とし、さまざまなITを体験できる沖縄県内最大級のIT体験イベントです。「学生によるプレゼン大会」では、産業情報学科 安里ゼミの学生による「iBeaconを利用した観光案内アプリの開発」が審査員の高い評価を受けて最優秀賞（一位）を受賞しました。



1月23日

韓国青年訪日団との学生交流会を持ちました

韓国の釜山および済州の大学生で構成された「韓国青年訪日団」が本学を訪問し、韓国語受講生たちと交流会を持ちました。「公益財団法人 日韓文化交流基金」による研修事業の一環として、本学のグローバル教育支援センターを通じて行われたものです。本学の学生による大学説明およびキャンパス見学のほか、様々なプログラムも設けられ、学生間の交流を深めました。



1月24日

臨床心理士資格試験に 本学大学院修了生5名が合格しました

平成28年度臨床心理士資格試験合格者5名（修了生）が指導教員とともに、前津榮健学長を訪問し合格の報告を行いました。本学の大学院「臨床心理学領域」は、第一種指定大学院に指定されており、大学院在学中の実習経験だけで修了後に臨床心理士試験の受験資格が得られるようになっています。



2月1日

NRI 学生小論文コンテストで 本学学生が奨励賞を受賞しました

野村総合研究所 (NRI) が主催している「NRI 学生小論文コンテスト 2016」で本学人間福祉学科心理カウンセリング専攻 4 年次の藤山夏海さんが奨励賞を受賞しました。テーマは「世界を変える、新たな挑戦」で、全国の大学生・留学生・高校生から応募のあった 3,103 本の中から選ばれました。



2月3日

第 2 回沖縄県スポーツ関連ビジネス企画コンテストで本学チームが優秀賞を受賞しました

このコンテストは「沖縄×スポーツ×新ビジネス」をテーマに、自由な、ユニークな、面白いビジネス企画(コンセプト・アイデア)を全国の大学に募集したコンテストです。全国から募集された企画の中から上位 5 チームが最終プレゼンを行い、本学チーム(経済学科・企業システム学科)は優秀賞を受賞しました。



2月11日

卓球部の創部 45 周年式典を開催しました

本学の創立と同時に創部した卓球部は、今まで多くの優秀な成績を収め、本学で最も歴史のある部活動の一つです。

2月28日

硬式野球部が「書きそんじはがき」を 沖縄ユネスコ協会に寄贈しました

本学硬式野球部のメンバーらが集めた「書きそんじはがき」を沖縄県ユネスコ協会に寄贈しました。この運動は、学校に行けない子供や教育の機会を逃した大人たちに「寺子屋=学びの場」を通じて学習の機会を提供するための資金となっております。



3月3日

第 4 回東アジア沖縄国際交流大学サッカー 大会 2017 を本学で開催しました

本学グラウンドにて開催され、県内 4 大学(5 チーム)と、招請チームとして参加した、国立台湾体育運動大学の 2 チーム、澳門大学の 1 チーム、合計 8 チームが参加しました。大会では各大学の学生自らが大会の運営も担当し、台湾・澳門の学生との交流も深めました。本学からは 2 チームが参加し、九州リーグ 1 部の底力で優勝・準優勝に輝きました。本学の優勝は 4 連覇となりました。



3月9日

浦添市の「観光プラン」企画コンテストで 優良賞を受賞しました

浦添市観光協会主催の「浦添の魅力みつ隊」に参加している本学経済学科の学生(チームうらたん)が浦添市の「観光プラン」企画コンテストで優良賞を受賞しました。チームうらたんは、浦添の隠れた魅力を「学生目線」で日々見つけ、SNS 等を活用して発信する活動をしています。今回のコンテストでは、浦添市に毎春やってくるヤクルトスワローズのキャンプを観に来るファンをターゲットとし、浦添の隠れスポット・おしゃれなカフェなどの飲食店を案内する観光マップを作成し、受賞となりました。



3月13日

国内留学派遣学生の懇親会を開催しました

沖縄国際大学は、札幌学院大学（北海道）・桜美林大学（東京都）・名城大学（愛知県）・京都学園大学（京都府）・松山大学（愛媛県）・熊本学園大学（熊本県）の6大学と単位互換協定を締結しており、半期もしくは1年間の交換留学制度を設けています。懇親会では、次年度派遣が予定されている学生と派遣経験者の双方が交流し、より良いキャンパスライフへむけて情報交換などを行いました。



3月15日

障害者リーダー育成海外研修派遣事業に選出されました

人間福祉学科 3年次の宮城千恵子さんが「ダスキン愛の輪基金が行う、『ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業研修生』」に選出された報告に訪れました。この事業は、障害のある人を対象とする海外研修派遣制度として、国内外に広く知られており、地域社会のリーダーとして貢献したいと願う障害のある若者に、海外で実地研修していただくものです。宮城さんの研修テーマは「ピアカウンセリングを用いた障害者のエンパワメントについて」となっており、アメリカでの研修が決まっています。



3月17日

平成28年度卒業式・大学院修了式を挙行了しました

本学講堂兼体育館にて第45回卒業式並びに第19回大学院修了式を挙行了しました。各学科卒業生及び大学院修了生の代表に、卒業証書・学位記が授与された後、学業や課外活動・スポーツなどで顕著な功績があり、他学生の模範となる卒業生に対して表彰が行われました。学部卒業生1,224名、大学院修了生19名の計1,243名それぞれの目標や夢に向かって新たな一歩を踏み出しました。



3月19日

春のオープンキャンパスを開催しました

各学科の学科紹介や体験講座を実施し、入試や就職、奨学金、国内・海外留学相談などの各種相談ブースも設置しました。在学生によるキャンパスツアーも実施し、多くの皆さんにご来場頂きました。（来場者数：約370名）また、今回のオープンキャンパスでは初めて「保護者向け説明会」を同時開催し、「『大学』に進学する事とは？」「大卒の就職について」などのテーマで、大学の取り組みや事例も交えながら本学の教員が説明し、30名以上の皆さんにご参加頂きました。



4月1日

平成29年度入学式を挙行了しました

本学講堂兼体育館において第46回沖縄国際大学入学式並びに第21回大学院入学式を挙行了しました。各学部長・大学院研究科長による入学許可申請のあと、前津学長より入学許可がなされ、学部生1,410名、大学院入学生19名の計1,429名が本学へ入学しました。新入生を代表して経済学部地域環境政策学科の金城樹さん、大学院地域産業研究科地域産業専攻の渡久地宗士さんによる宣誓が行われました。



4月4日

春のサークル紹介を開催しました

本学の様々なサークルの活動を広く知ってもらうと同時に、新入生が興味のあるサークルを見つけ、有意義なキャンパスライフを送れるようにと、学生有志で構成された「沖縄国際大学春のサークル紹介実行委員会」が企画・運営をしています。各サークルが一室に会し、展示やパフォーマンスを行いました。また、今年は新3号館の完成で広がった中庭での開催となり、大盛況となりました！



4月14日

産業情報学科の学生が商標登録を出願し登録されました

産業情報学部提供科目「企業と産業財産権」(担当:有賀俊二先生)では、学生に商標・特許の調査を行って商標出願を実践させています。その成果として、産業情報学科 4 年次の玉那覇恵都さんが特許庁に商標を出願し、無事商標が登録されました。有賀先生は「類似名称を避け出願が順調に登録されることは難しく、在学中に成功するのは県内では初めてのことでないか」と高く評価しています。



4月29日

沖縄県学生空手道選手権大会で 本学空手道部員が優勝しました

沖縄県立武道館にて第 27 回沖縄県学生空手道選手権大会が開催され、本学空手道部員が出場しました。女子形競技で與那覇綾子さん(英米言語文化学科 2 年次)が見事優勝、仲村柚紀さん(人間福祉学科 3 年次)が 3 位入賞を果たしました。男子形競技では佐々木瞭友さん(法律学科 3 年次)が準優勝、山城伊織さん(地域行政学科 4 年次)が 3 位、男子組手競技では比嘉椎南さん(地域行政学科 4 年次)が準優勝、照屋雅高さん(地域行政学科 3 年次)が 3 位に入賞しました。

4月11日

本学卒業生が県内消防署の語学枠で 初採用されました

2016 年度卒業の湯川仁一さん(産業情報学科卒)が、県内で初めて中国語枠で東部消防署の職員に現役で採用され、2017 年 4 月 11 日の琉球新報で紹介されました。また、同時に語学枠で採用された 3 名も本学出身です。金城綾香さん(法律学科 2011 年度卒)、島袋勇人さん(英米言語文化学科 2015 年度卒)、新垣雄二郎さん(英米言語文化学科 2014 年度卒)。県内初の採用 4 名が全て本学卒業生という快挙で、ますますの活躍が期待されます!



5月2日

宜野湾市教育委員会と連携・協力に 関する協定を結びました

沖縄国際大学と宜野湾市教育委員会は、この度、相互に連携・協力していくための協定を締結いたしました。具体的には宜野湾市が所管する嘉数中学校の教育に関わる調査・研究及び事業等に協力していきます。宜野湾市教育委員会教育長室で行われた協定調印式において、知念春美 教育長からは「宜野湾市の中学校教育において課題がある中で、学力の底上げを図りたい」と本協定に対する期待が述べられました。



5月13日

体育祭を開催しました

体育祭は、大学全体が学部学科・学年等の垣根を越え親睦を深める目的で毎年開催されています。また、毎年学生有志の実行委員会が企画・運営の全てを担う、沖縄大の特徴的な行事の一つです。当日は、あいにくの天気の中で予定されていたフットサルは中止となりましたが、場所を 3 号館学生広場へ移し、綱引きへ変更して行いました。また、体育館では予定通りバレーボールが行われ、今年度も体育祭は大いに盛り上がり、学生や教職員の親交を深めた 1 日となりました。



5月18日

第 68 回全九州学生春季卓球選手権大会で 優勝しました

5 月 18 日～20 日、福岡市民体育館にて行われた第 68 回全九州学生春季卓球選手権大会にて、女子団体 1 部リーグで見事優勝を果たしました! また、女子ダブルスでは決勝戦で仲真萌希さん(企業システム学科 3 年次)・玉城このみさん(英米言語文化学科 2 年次)ペアと狩俣道世さん(企業システム学科 4 年次)・仲宗根深月さん(企業システム学科 1 年次)の本学同士の対決となり、優勝・準優勝共に本学のペアという快挙、女子シングルスでは玉城このみさんが準優勝という優秀な成績をおさめました!

1・2年生の
ための

就職活動入門!

どの学生にとっても就職活動は初めての体験。どのように進めて良いのか不安や迷いがあるのは当然です。特に1・2年生だと何から始めれば良いのか分からないことばかりだと思います。キャリア支援課(本館3階)では、一人ひとりの進路設計をお手伝いするために様々なサポートを行っています。まずはキャリア支援課に足を運んでみましょう♪

充実した就職関連資料

キャリア支援課に併設している資料コーナーでは、就職に関する各種資料を取り揃えています。ビジネス書や各種資格試験の参考書だけでなく、県内外企業からの求人票、企業個別ファイル、就職情報誌など、就職・キャリアに関する資料が閲覧できます。就職試験の勉強や企業研究に活用してください!



キャリアカウンセラーによる 就職相談

キャリア支援課スタッフによる就職相談のほか、毎週火・水曜日にキャリアカウンセラーによる進路相談、模擬面接、履歴書・エントリーシートの添削などを行っています。専門家のアドバイスを参考に自分なりの就職活動を着実に進めていきましょう♪

バラエティ豊富な 就活プログラム

その他にも年間を通して様々なプログラム(セミナーや講座など)を設けています。就職活動に近道はありませんが、頑張った分だけ自分の成長につながります。バラエティ豊富なキャリア支援課のプログラムを活用しながら、じっくり将来の進路について考えてみましょう♪また、先生のアドバイスや先輩の体験談、同じ仲間との情報交換なども大切です。

年間を通して行っている就活プログラム

- 共通科目「キャリア教育科目群」との連携
- 出張キャリアガイダンス(所属ゼミ)
- 資格取得支援(詳細は24ページ)
- 筆記試験対策講座(SPI・教養)
- 就活支援講座・各種セミナー

学生サポーターに 聞いてみよう

就職活動は初めての体験で、不安や悩みが多いものです。そんな不安や悩みは実際に就職活動を終えたばかりの先輩に相談することで解消しましょう！これから就職活動始める学生にとっては、気軽に先輩の実体験を聞けるまとない場です。ぜひ活用してください！！

※学生サポーターは、就職内定が決まる11月～12月頃からキャリア支援課に常駐しています。

2016年度学生サポーターからのメッセージ



後悔のない
就職を！

金城 大介

【きんじょう だいすけ】

英米言語文化学科 2016年度卒業生

就職先：株式会社 沖縄メディコ

公務員・民間企業、どちらか悩んでいた3年生当時。「後悔のない就職を」と心に決め、両方のインターンシップを経験し、進路を決める事になりました。どちらも貴重な経験でしたが、もっと広く業界をみたいと感じ、結果的に民間企業への就職を決意しました。「携わりたい仕事」「会社／社員の熱意・雰囲気」を軸に50社以上の説明を聴い

てまわり、最終的に自身の軸に合った会社から内定を頂く事が出来ました。就職活動は不安が大きかったのですが、キャリア支援課や先生方の協力もあり、前向きに取り組む事が出来ました。これから就職活動始める皆さん、後悔しない道へ進むために自ら「考え」「行動」してください。応援しています。

3年生になったらインターンシップにチャレンジ！

本学では夏期休業期間を利用して企業や官公庁においてインターンシップ実習を実施しています。実際に就業体験をしてみることで志望する業界のイメージが変わることもあるかもしれません。気になる業界や企業があればチェックして、インターンシップに応募してみましょう！
学内募集は例年5月上旬頃に行いますので、見逃さないように注意しましょう！
(次号ではインターンシップ参加者の体験談などを掲載する予定です。)

資格取得・就職支援講座で キャリアアップ!

「将来のキャリアを考えると在学中に何か資格を取得しておきたい。」「就職試験に備えて勉強しておきたい。」そんな学生のためにキャリア支援課では、外部提携(有料)による資格取得や国家資格試験などの資格取得・就職支援講座を企画しています。また、各種検定試験の受付なども行っています。

どの講座も申込みが始まる前にガイダンスを実施しますので、講座内容に納得した上で受講を決めることができます♪

※申込み人数によっては、講座が閉講になることもありますので、予めご了承ください。

3つのメリット

安価な受講料

受講生の経済的な負担を考慮。市場より安価な金額設定となっています。

※卒業生も同額で受講可能!

プロによる講義

各分野で実績のある講師陣が丁寧に指導します。独学では得がたい実践的な知識、出題傾向に基づくテクニックを身につけることができます。

学内で受講可能

各講座は学内での実施となり、時間のロスや交通費の負担はありません。講座時間帯は講義終了後となっているため、日頃の学業と並行して、勉学に励むことができます。

2017年度開講予定講座一覧

- ・日商簿記検定 2 級対策講座
- ・日商簿記検定 3 級対策講座
- ・公務員試験対策講座
- ・色彩検定 2 級対策講座
- ・秘書検定 2 級・準 1 級対策総合講座
- ・プライダルプランナー検定 2 級対策講座
- ・IT パスポート試験対策講座
- ・医療事務・医療事務コンピュータ講座
- ・介護職員初任者研修
- ・Word 文書処理技能認定試験対策講座
- ・Excel 表計算処理技能認定試験対策講座
- ・ファイリングデザイナー検定対策講座
- ・国内旅行業務取扱管理者試験対策講座
- ・行政書士試験対策講座
- ・宅地建物取引士試験対策講座

キャリア支援課窓口(本館 3 階)

受付時間 / 9:00-19:00(月~金)

TEL : 098-893-7779(就職関連窓口)

URL <http://career.okiu.ac.jp>

TEL : 098-893-3293(資格関連窓口)





宅地建物取引士試験合格！

呉屋 香 [ごやかおり]

法律学科 4 年次

出身高校：知念高校

受講した講座：宅地建物取引士試験対策講座

私が宅地建物取引士の資格講座を受講したきっかけは「在学中に学んできた法律の知識を形に残したい」と思ったからです。友人や先輩が講座を利用して資格を取得したと聞いて、受講を決意しました。実際の講座では、テキストでわかりにくいところは講師の先生が絵やプリントを用いて教えてくれたり、

一問一答やまとめのプリントを用意してくれたり工夫が多く、とても丁寧な講座でした。また、自身の理解が追いついていない部分を講座外に自ら復習していくことで試験合格につながることができました。覚えることが多く、合格率 14% 以下と低い国家資格ではありますが、不動産業界以外でも強みとなる企業は多くあります。自分自身の将来の可能性を広げるためにも興味のある資格は積極的に挑戦してください！！

資格取得・就職支援講座 受講生からのメッセージ

Word 文書処理・Excel 表計算処理
技能認定試験 3 級合格！

嶺井 綾華 [みねい あやか]

人間福祉学科 心理カウンセリング専攻 4 年次

出身高校：南部商業高校

受講した講座：Word 文書処理技能認定試験 3 級・
Excel 表計算処理技能認定試験 3 級対策講座



私は、就職活動を目前に自分の強みになるものを身につけたいと思い Word、Excel 3 級の対策講座を受講しました。PC の使い方の基礎からゆっくりと指導して頂きました。少人数での講座だったので質問もしやすく、初めての操作も講座内で覚えることができました。また、

講座が終わってからも、しばらく講師の先生が残ってくださるので講座での疑問を改めて聞く事も可能です。質問しやすかったのとゆっくり丁寧に教えて頂けたので、すんなり合格する事が出来ました。Word と Excel の楽しさも学べたので、次は 2 級に挑戦しようと思っています。

奨学金を活用しよう！



奨学金制度を賢く利用

沖縄国際大学では経済的な理由に悩まされず、充実した学生生活が送れるように、独自の各種奨学金制度を用意しています。また、日本学生支援機構（JASSO）など学外の奨学金も取り扱っています。奨学金には返済不要の「給付型」と、卒業後に返済が必要な「貸与型」の大きく分けて 2 種類の奨学金があります。



給付型（本学奨学金）

返済する必要がない奨学金

学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に給付されます。

（例）

- 特待奨学金
- 一般奨学金
- 体育奨学金
- 文化活動奨学金
- 国内協定校派遣留学奨学金 など



貸与型（外部奨学金）

卒業後に返済が必要な奨学金

学業・人物ともに優秀で、諸事情により修学が困難な学生に貸与されます。

（例）

- 日本学生支援機構奨学金
- 財団法人沖縄県国際交流人材育成財団
- 交通遺児育英会奨学金
- 市町村奨学金 など

本学独自の奨学金は全て返済不要の給付型です。学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に給付されます。奨学生は出願者の中から選考により決定します。選考基準は奨学金の種類により異なりますが、学業成績やご家庭の経済状況などが選考材料になります。また、本学の奨学金と学外の貸与型奨学金は併用も可能です。奨学金制度を賢く利用して無理なく学業に専念できるキャンパスライフにしましょう。



奨学金関連スケジュール

奨学金の募集や案内は3月～5月に集中します。奨学金の種類によっては、説明会やオリエンテーションへの参加を見逃してしまうと出願が難しくなることもありますので、掲示板など学内お知らせを見逃さないよう注意してください。

4月

- ・日本学生支援機構 (JASSO) 在学届提出
- ・日本学生支援機構 (JASSO) 予約採用生オリエンテーション【4月上旬】
- ・日本学生支援機構 (JASSO) 定期募集説明会【4月中旬】
- ・日本学生支援機構 (JASSO) 「採用候補者決定通知」受付 (予約奨学生)
- ・その他市町村等奨学金 (掲示)
- ・沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金 (掲示)

5月

- ・日本学生支援機構 (JASSO) 定期募集出願受付【5月上旬】
- ・あしなが育英会奨学金 (掲示)
- ・交通遺児育英会奨学金 (掲示)
- ・中村積善会奨学金 (掲示)
- ・本学及び本学関係奨学金説明会【5月下旬～6月上旬】

6月

- ・本学及び本学関係奨学金出願受付【6月中旬】

7月

- ・日本学生支援機構 (JASSO) 採用オリエンテーション (予約採用学生)【7月上旬】

8月

- ・日本学生支援機構 (JASSO) 採用オリエンテーション (定期採用生)【8月上旬】
- ・本学及び本学関係奨学生 採用決定【8月下旬】

12月

- ・日本学生支援機構 (JASSO) 奨学金返還説明会 (満期予定者)【12月上旬】

1月

- ・日本学生支援機構 (JASSO) 継続手続書類配布 (1～3 年次学生)【1月上旬】
- ・国内協定校派遣留学奨学金説明会



本館 2 階の学生課窓口



3 号館 1 階の奨学金関連掲示板

ユニークな奨学金制度

沖縄国際大学では多種多様な奨学金制度を設けているため、各々の学業事情や経済的事情に合わせた奨学金への出願が可能です。「被災学生奨学金」は自然災害や火災等の事由により家計が急変した学生を救済しています。「兄弟姉妹等支援奨学金」は兄弟姉妹など家族で本学に在籍する学生の経済負担をサポートしています。また 2017 年度より離島遠隔地出身学生を支援する奨学金制度を新設しました。各種奨学金の詳細については、ホームページをご覧ください。学生課窓口へお問い合わせください。

兄弟姉妹等支援奨学金

兄弟姉妹など家族で沖縄国際大学に在籍する学生を支援する奨学金です（給付は入学年度のみ）。

※2～4年生に兄弟姉妹など家族で3人以上在籍している学生を対象にした募集もあります。

出願条件	金 額
入学年度に家族が3名以上在籍する学生	授業料相当額（¥610,000）
入学年度に家族が2名以上在籍する学生	入学金相当額（¥120,000）

入学時離島遠隔地出身学生支援奨学金

離島遠隔地から入学してきた学生を支援する奨学金です（給付は入学年度のみ）。

出願条件	金 額
本学が定める遠隔地出身学生で、且つ家計支持者が遠隔地に居住している新入生	入学時の施設設備資金 1/4 相当額（¥50,000）

離島遠隔地出身学生支援奨学金

離島遠隔地出身学生を支援する奨学金です（全学年が対象）。

出願条件	金 額
本学が定める遠隔地出身学生で且つ家計支持者が遠隔地に居住しており学業・人物ともに優秀で経済的理由により学費の支弁が困難な学生 ※成績基準があります	授業料の半額相当額（¥305,000） 授業料の 1/4 相当額（¥152,500）

学生課担当職員よりメッセージ

学生課では、本学独自の奨学金制度・JASSO（日本学生支援機構）の募集業務や、学外奨学金の紹介等、修学上の経済的な不安解消のお役に立てるよう、学生のみなさんのサポートを行っています。奨学金のことではわからないことや知りたいことがある場合は、是非、学生課窓口をおたずねください。

学生課窓口（本館 2 階）

受付時間／9：00～19：00（月～金）

TEL：098-893-7686 E-mail：welchr@oku.ac.jp

奨学生メッセージ



城間 望 [しろま のぞみ]

日本文化学科 2 年次

城間 萌 [しろま めぐみ]

出身高校：八重山高校

離島出身で双子でもある私たちは、入学時の兄弟姉妹等奨学金で親の負担を軽くすることができ、とても助かりました。沖縄国際大学の奨学金制度は学業の成績も重要なので、良い成績を取るため、しっかり努力しなければなりません。日々の学生生活においても、授業を真面目に受け、課題をきちんと提出し、アルバイトと学業の両立を目指しています。また、努力して良い成績を取ればより多くの

給付型奨学金が頂けるチャンスがあるので、自分自身の励みにもなります。今年度から離島出身学生向けの奨学金も新設されていて、私たちのような離島出身の学生に、更に多くのチャンスが与えられています。親への負担が何かと多い離島出身の学生のことも考えてくれていると嬉しい気持ちです。今後も奨学金制度を活用して、充実した学生生活にしていきたいです。

1

空手道部

KARATE

部長名

山城 伊織

入部方法

稽古時に声をかけてください。

部活動場所

本学体育館下の
空手道場



空手道部紹介の前に、空手道競技について説明します。種目として、主に形と組手の2つに分けられます。形は実際に相手と対峙するものではなく、敵を想定し、突きや蹴りを織り交ぜながら演武するものです。一方組手は、ノンコンタクト(寸止め)・ポイント制ルールの下、実際に相手と対戦します。空手道部では組手を中心に稽古をしておりますが、競技大会においては形・組手ともに出場し、県内のみならず、九州・全国・世界を相手に多くの実績を残しております。現在、部員数は12名(男子8名・女子4名)ではありますが、各々目標達成に向けて日々稽古しております。興味のある方、見学だけでも構いません。是非一度、空手道場へお気軽にお越しください。



2

女子ハンドボール部

HANDBALL

部長名

平良 亜都彩

入部方法

練習の時に声をかけてください。

部活動場所

本学体育館
月・火・水(16:20～)、
日(朝)

こんにちは。沖縄国際大学女子ハンドボール部の平良亜都彩です。私たち女子ハンドボールは現在部員が4年生3人、3年生3人、2年生5人の計11名で活動しています。学生リーグ現在の順位は1部3位です。春と秋に九州学生リーグ、その他にも県内で大会がいくつかあります。みんな面白くて、優しい人たちばかりです。とても仲が良く、笑顔が絶えないチームです^^部員の人数がギリギリなので、初心者、経験者どなたでも大歓迎です。練習は月、水、木曜の5限の時間と日曜日の朝に練習してます。気になる方は気軽に遊びに来てください!!



3

タヒチアンダンスサークル ポエマラマ

TAHITIAN DANCE CIRCLE

部長名

新里 匡望

入部方法

14ca074@okiu.ac.jp
に連絡ください!
または、武道場に木曜
19:30にお越しください!

部活動場所

本学体育館下の武道場
毎週木曜 19:30～



私たちは、沖縄大タヒチアンダンスサークル ポエマラマ です！私たちは、北谷町美浜にあるタヒチアンダンススタジオ ポエマラマ から講師に来てもらい、毎週木曜 19:30～体育館下の武道場で練習しています。毎年、学園祭では教室公演、二月にはスタジオが主催しているアレアレという発表会に出演しています。また毎年ダンスの衣装を全員で考え手作りしています。サークルメンバー全員が大学からタヒチアンダンスを始めた初心者で、本学に限らず他大学からのメンバーもいて騒がしく楽しいサークルになっています！1年生から4年生まで誰でもいつでも！！大歓迎です！お待ちしております！！



4

ユニバーサルスポーツサークル Connect

UNIVERSAL SPORTS CIRCLE CONNECT

部長名

波平 唯斗

入部方法

練習の時に声をかけてください。

部活動場所

本学体育館サブフロア
水(15:00~18:00)

こんにちは。Connect リーダーの波平です。ユニバーサルスポーツサークル Connect は、性別や障がいの有無に関係なく、皆が参加でき一緒になって楽しむことのできるサークルとして2016年6月に設立したばかりの間もない団体です。ユニバーサルスポーツにも他スポーツと同様に、その競技の特性に合わせて作られた用具が存在します。しかし、沖縄大に競技用車いすの台数、用具が充実していないため他のものを代用し、少し競技ルールを変更するなど試行錯誤しています。現在は部員16人、週に1回のペースで活動を行っています。沖縄県内のイベントや大会への参加、一つに限定することなく多種多様なスポーツを体験できるのが Connect の魅力！競技の自由度も高いので初心者の方でもとても楽しめます♪



2016年度クラブ・サークル活動実績

体育系サークルの主な実績

1	陸上競技部	○第29回 海邦国体記念記録会兼国体選考会 男子一般5000m(1位)(外間勇太) ○第67回 沖縄陸上競技選手権大会兼国体選考会 男子一般1500m(1位)(外間勇太) ○第69回 西日本学生陸上競技対抗選手権大会 男子5000m予選(1位)(外間勇太) ○第9回沖縄県男子総合駅伝競走大会 沖縄国際大学A 2時間24分31秒(優勝)(大会8連覇) ○東京マラソン2017出場(喜屋武佑樹) ○第20回日本学生ハーフマラソン選手権大会出場(外間勇太) ○2016 タイムスカップ長距離フェスティバル 男子一般5000m(1位)(津波尚吾)、女子一般3000m(1位)(本村穂乃美)
2	硬式野球部	○第96回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会沖縄地区予選 (準優勝) (個人賞 敢闘賞: 崎浜秀敏 打撃賞: 中村謙太)
3	軟式野球部	○2016年度沖縄県大学軟式野球春季リーグ (優勝)(最優秀選手:瀧裕太) ○第39回全日本大学軟式野球選手権大会出場 ○2016年度沖縄県大学軟式野球秋季リーグ (優勝)(最優秀選手:金城滉市) ○第33回西日本大学軟式野球選手権大会出場 (準優勝)(優秀選手賞:大城裕樹) ○第2回大学軟式野球国際親善大会日本代表選抜 (金城滉市、瀧裕太、大城裕樹)
4	男子ハンドボール部	○平成28年度 第25回九州学生ハンドボールリーグ春季大会 (2部リーグ2位)
5	女子ハンドボール部	○第49回沖縄県一般ハンドボール選手権大会 (準優勝)
6	卓球部	○第67回全九州学生春季卓球選手権大会 女子団体一部(優勝) ○第86回全日本大学総合卓球選手権大会九州地区予選会 女子団体一部(優勝) ○第86回全日本大学総合卓球選手権大会出場 ○第67回全日本学生秋季卓球選手権大会 男子:(団体2位) 女子:(団体1位) シングル:(優勝:狩保道世)

本学では課外活動に対する必要経費の一部補助を行なっています。補助を申請したい場合は学生課の窓口までご相談下さい。また、大会・行事に参加する場合は補助金の申請有無にかかわらず、「大会・行事参加届」を学生課まで提出して下さい。

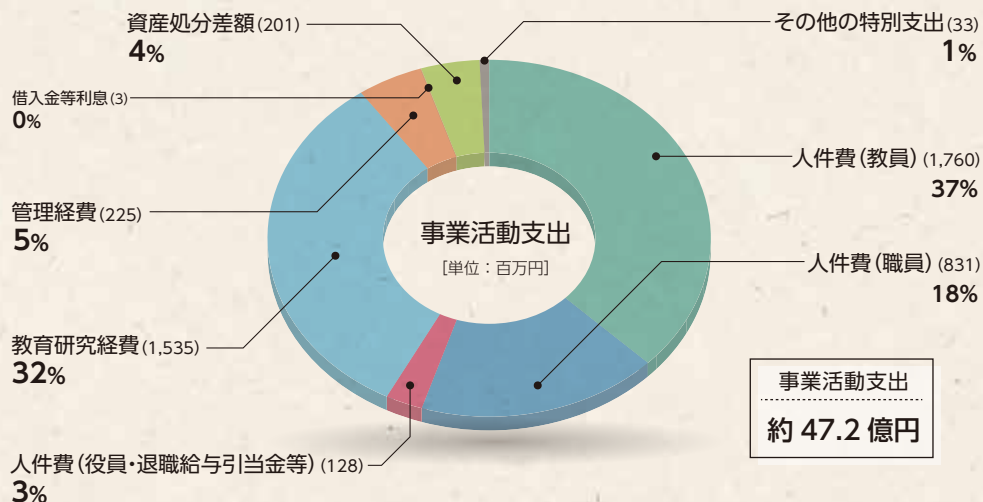
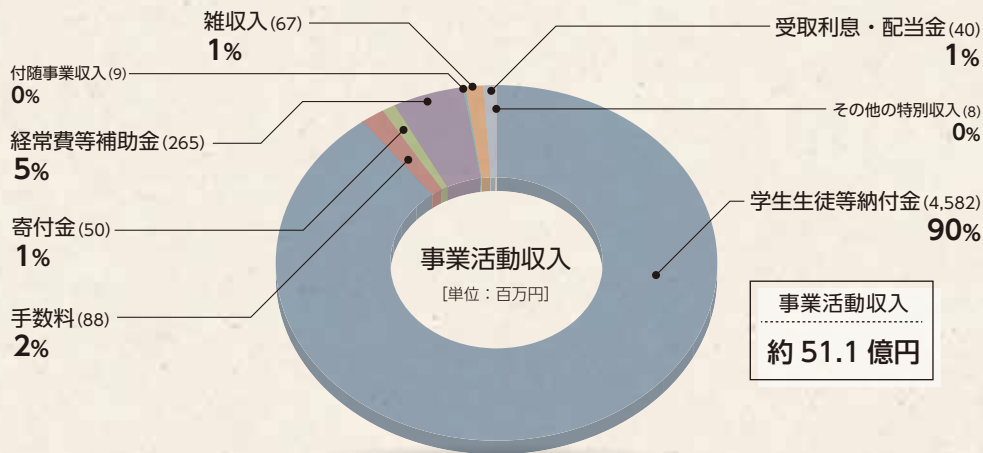
体育系サークルの主な実績

7	空手道部	○第21回沖縄県学生空手道選手権大会 男子個人形:(準優勝)(照屋雅高)、男子個人組手:(準優勝)(照屋雅高) ○第47回北海道空手選手権大会 男子個人形:(優勝)(佐々木瞭友) ○第65回全九州大学空手道選手権大会 男子団体形の部:(優勝)
8	男女バドミントン	○沖縄県総合ダブルスバドミントン選手権大会 女子ダブルス(3位)(俣村南紗) ○第65回九州学生バドミントン選手権大会 個人戦:男子ダブルス(3位)(玉寄鷺、山入端隆人) ○第37回沖縄県選抜バドミントン選手権大会 男子シングルの部(ベスト8)(仲宗根亮)
9	サッカー部	○第40回沖縄県大学トーナメント大会(優勝) ○第16回沖縄県学生サッカーリーグ(優勝) ○第16回沖縄県学生サッカー選手権大会(優勝) ○第36回沖縄県新人サッカー選手権大会(優勝) ○第45回OTV杯争奪沖縄県サッカーリーグ(優勝) ○第4回東アジア沖縄国際交流大学サッカー大会(優勝)
10	女子サッカー部	○サッカー祭り(準優勝) ○KBC学園杯(準優勝)
11	ウエイトリフティング部	○全日本大学対抗選手権大会 スナッチ165kgジャーク200kgトータル365kg(1位)(知念光亮) ○全日本大学対抗選手権大会 スナッチ140kgジャーク180kgトータル320kg(1位)(屋良一郎)

文化系サークルの主な実績

1	吹奏楽部	○第56回沖縄県吹奏楽コンクール(金賞)
2	放送研究部	○第33回NHK全国大学放送コンテスト出場

2016 年度決算について



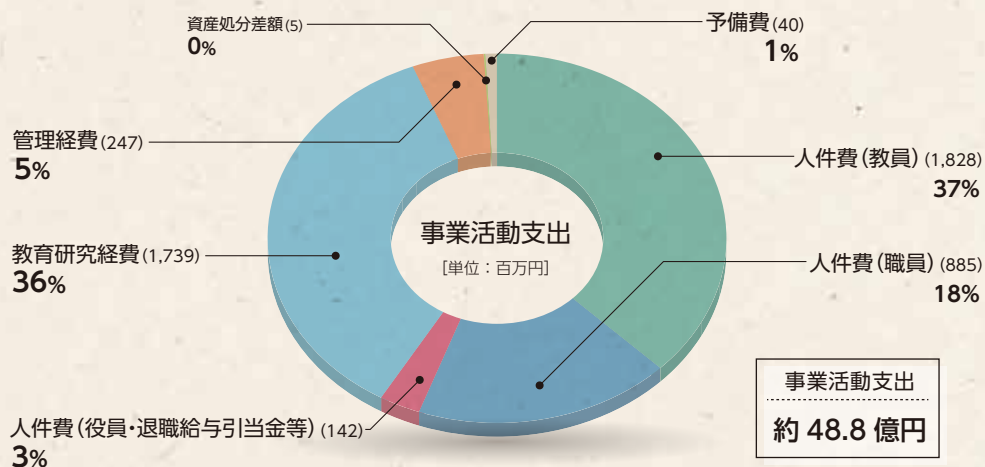
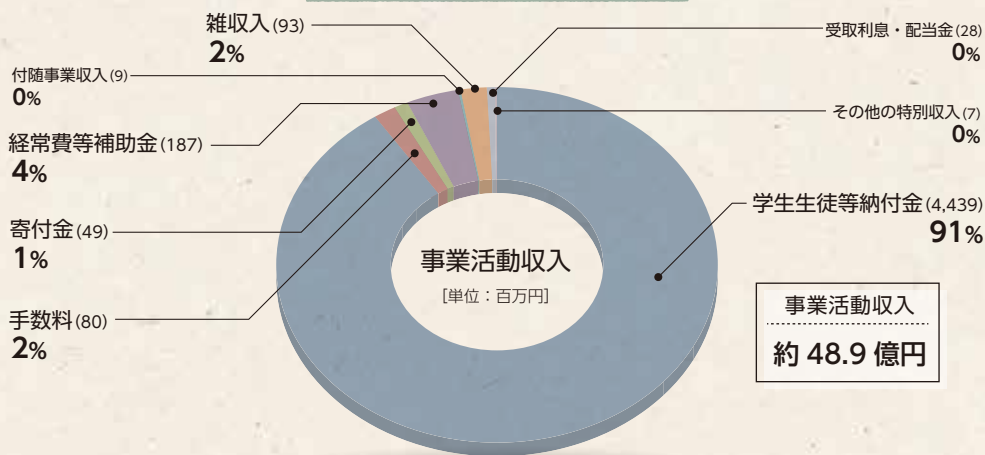
事業活動収入 **約 51 億円**

入学金や授業料からなる学生生徒納付金が 90% を占め、その他の補助金等の収入をもとに大学運営を行っています。

最終的な収支差額 **約 5 千万円**

事業活動収入と事業活動支出の収支差額が約 4 億円ありますが、奨学基金積立のための基本金組入があったため、最終的な収支差額はおよそ約 5 千万円となっております。本学では学生の教育支援のために奨学金制度の充実を図っています。

2017 年度予算について



◆ 2017 年度の取組について (事業方針)

本年度の予算では、経営・財政収支安定化のもとで、学生の皆さんのために、

(1) 教育力・学修力を向上させる事業 (2) キャンパスライフ充実事業 (3) キャリア教育・就職活動支援の拡充を行っていきます。教育環境では (4) 国際交流・外国語教育 (5) 図書館および情報サービスの強化を行います。また、(6) 研究力向上、大学院教育の拡充とともに (7) 地域交流・連携の取り組み、高校と大学の連携の強化を進めていきます。

※本学の財務資料・事業計画等の詳細については、本学ホームページから確認出来ます。

(<http://www.okiu.ac.jp/gaiyou/index.html>)

学内人事

採用教職員紹介〔4月1日付〕 ①最終学歴 ②専門分野



法学部

法律学科 講師

清水 太郎 (しみず たろう)

- ①上智大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学修士(法学)
- ②商法



法学部

地域行政学科 講師

柴田 優人 (しばた まさと)

- ①立教大学大学院法学研究科法学政治学専攻博士課程後期課程退学修士(法学)
- ②行政法、環境法、地方自治法



経済学部

地域環境政策学科 准教授

齋藤 星耕 (さいとう せいこう)

- ①京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻博士課程修了博士(農学)
- ②土壌動物学、生物情報学



産業情報学部

企業システム学科 講師

李 相典 (い さんじょん)

- ①神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学修士(経営学)
- ②経営学



産業情報学部

企業システム学科 講師

菅森 聡 (すがもり さとし)

- ①日本大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程退学修士(経済学)
- ②工業簿記、原価計算、業績管理会計、戦略管理会計



総合文化学部

英米言語文化学科 准教授

井上 泉 (いのうえ いずみ)

- ①オーストラリア・マッコーリー大学大学院 Doctor of Philosophy (Ph.D.) 博士(応用言語学)
- ②翻訳論、翻訳教育、エキスパート論



総合文化学部

人間福祉学科 講師

野村 れいか (のむら れいか)

- ①九州大学大学院人間環境学府人間共生システム専攻博士後期課程単位取得退学修士(人間環境学)
- ②発達障がい児者への支援、こども臨床、臨床心理学(精神科領域)



センター統括部

入試センター係員

當間 愛 (とうま あい)

- ①沖縄国際大学法学部法律学科卒業

〔退職者:3月31日付〕 ※特任教員&再任用職員として引き続き在籍する者は除く。

職 名	氏 名	勤 続 年 数
法学部法律学科 教授	脇阪 明紀	特任期間 3年
法学部地域行政学科 教授	徳永 賢治	特任期間 3年
経済学部地域環境政策学科 教授	名城 敏	特任期間 3年
産業情報学部企業システム学科 教授	大城 建夫	特任期間 3年
総合文化学部日本文化学科 教授	大城 朋子	特任期間 3年
総合文化学部人間福祉学科 教授	山入端 津由	特任期間 3年

〔併任:4月1日付〕

役 職 名	氏 名	職 名
総合文化学部長	兼本 敏	総合文化学部 教授
地域文化研究科長	井村 弘子	総合文化学部 教授
法学研究科長	井端 正幸	法学部 教授

〔昇任:教育職員:4月1日付〕

新 職 名	氏 名	旧 職 名
総合文化学部 教授	津波 聡	総合文化学部 准教授
総合文化学部 教授	西原 幹子	総合文化学部 准教授
総合文化学部 教授	比嘉 昌哉	総合文化学部 准教授
総合文化学部 准教授	桃原 千英子	総合文化学部 講師

PICK UP!

第46回

大学行事案内(2017年7月～12月)

沖国大祭

毎年、恒例の沖国大祭！活動的な沖国大生を象徴するように様々なパフォーマンスやアトラクション、模擬店があなたを待っています。



11月
25±
26日

EVENT
GUIDANCE

7月 2日(日)	オープンキャンパス
7月 16日(日)	オープンキャンパス
7月 25日(火)～ 8月 5日(土)	前期試験・補講期間
8月 7日(月)～ 9月 20日(水)	夏休み
8月 30日(水)～ 9月 2日(土)	AO 型入試面談審査
9月 13日(水)	再試験(9月卒業)
9月 21日(木)～ 9月 23日(土)	後期科目 Web 仮登録期間
9月 25日(月)	後期講義開始
9月 25日(月)～ 9月 30日(土)	後期登録調整期間
10月 6日(金)	秋季卒業式
10月 9日(月)	出校日：体育の日
10月 15日(日)	オープンキャンパス
11月 21日(火)	休校日：10/9体育の日(出校日)の振替休日
11月 3日(金)	出校日：文化の日
11月 14日(火)	推薦／特別・編入(前期)試験
11月 22日(水)	休校日：11/3文化の日(出校日)の振替休日
11月 24日(金)～11月 27日(月)	大学祭期間
12月 27日(水)～ 1月 4日(木)	冬休み

【沖縄国際大学 学報 第108号】

2017年6月30日発行 経営広報役員室(〒901-2701沖縄県宜野湾市宜野湾2丁目6番1号) 印刷：株式会社 東洋企画印刷

